

<個別案件確認表（組織委員会）>

組織委員会担当確認年月日 2019年1月15日

東京都作業部会確認年月日 2019年1月29日

事業名 トランスポートデポ、ハブの整備 デポ工事費用（建築・設備）

案件名 自家用給油所に係る屋外燃料貯蔵タンクの購入

確認の視点		組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであること		<ul style="list-style-type: none"> 東京2020大会において、選手や大会関係者を輸送するバスや乗用車の輸送デポ（車両基地）となる輸送関連施設の整備費用であり都が負担する。 	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること		<ul style="list-style-type: none"> 大枠の合意において、経費分担に関らず、管理施設等、仮設等のインフラ整備を実施する役割は組織委員会が担うこととなっている。 整備にあたり、組織委員会が会場状況を把握し、一元的な整備を進めることにより、IOCおよびIF要件を反映した施設整備とコスト縮減が可能である。 	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 開催都市契約大会運営要件で求められている施設の整備。 輸送デポ運営上必要となるバスの自家用給油取扱所を整備する。 大会時にバス給油可能な既存施設が不足しているため、デポ内に自家用給油所を仮設で整備する。 	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> 自家用給油所とする屋外燃料貯蔵タンクは、大会時のバス運行に必要な規模である。 消防法の特例許可要件に適合する燃料タンクは、現時点で1社のみであり、この会社からの見積書等に基づき、適正な金額を算出した。 	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> 予算内に収まる。 この燃料タンクは、リース・レンタル困難のため、購入するが、大会後の二次利用に向けた検討を進める。 	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		<ul style="list-style-type: none"> 大枠の合意で公費負担とされた輸送デポの管理施設であり、公費負担の対象として適切であると考ええる。 V3 予算内。 	

* 公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。